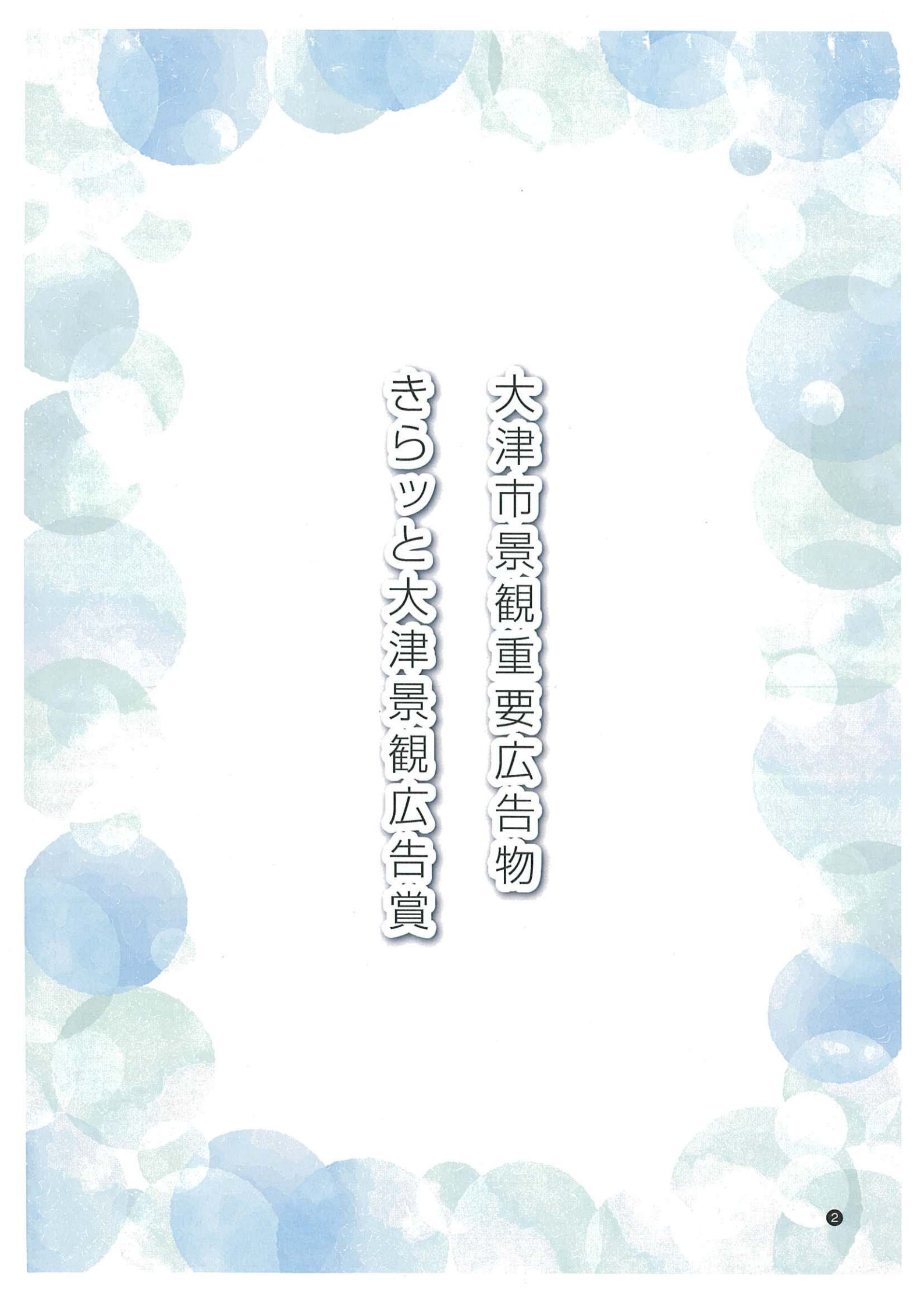




# 大津市景観重要広告物

## きらツと大津景観広告賞

## 選考を終えて

選考員長 石川 亮  
(美術家・成安造形大学芸術学部助教)



平成29年度のきらッと大津景観広告賞は、学生が選ぶきらッと賞1点を含めて受賞が3点、大津市景観重要広告物の指定は2点が選ばれました。今回の対象の膳所地域は、ときめき坂から東海道沿いに石坐神社を通り、城下町の名残が残る町並みを過ぎて御殿浜へ至る一帯です。東海道が鍵曲がりになっていることから膳所の水城の外堀を縁取るように通っていることがわかります。それは今よりも湖岸が近かったこともイメージすることができ、城、道、生業、暮らしが一体となった街であることを今日も伝えています。

きらッと大津景観広告賞を受賞された広告は、素材や制作方法も新しく、視認性の高いものが選ばれましたが、いずれも町並みの景観との調和がとれており、街に対する意識や工夫が見て取れるものでありました。候補に上がった件数も多く、最後に選から外れた広告について選考員の中から「何かに位置付けられないか!」という意見もありました。

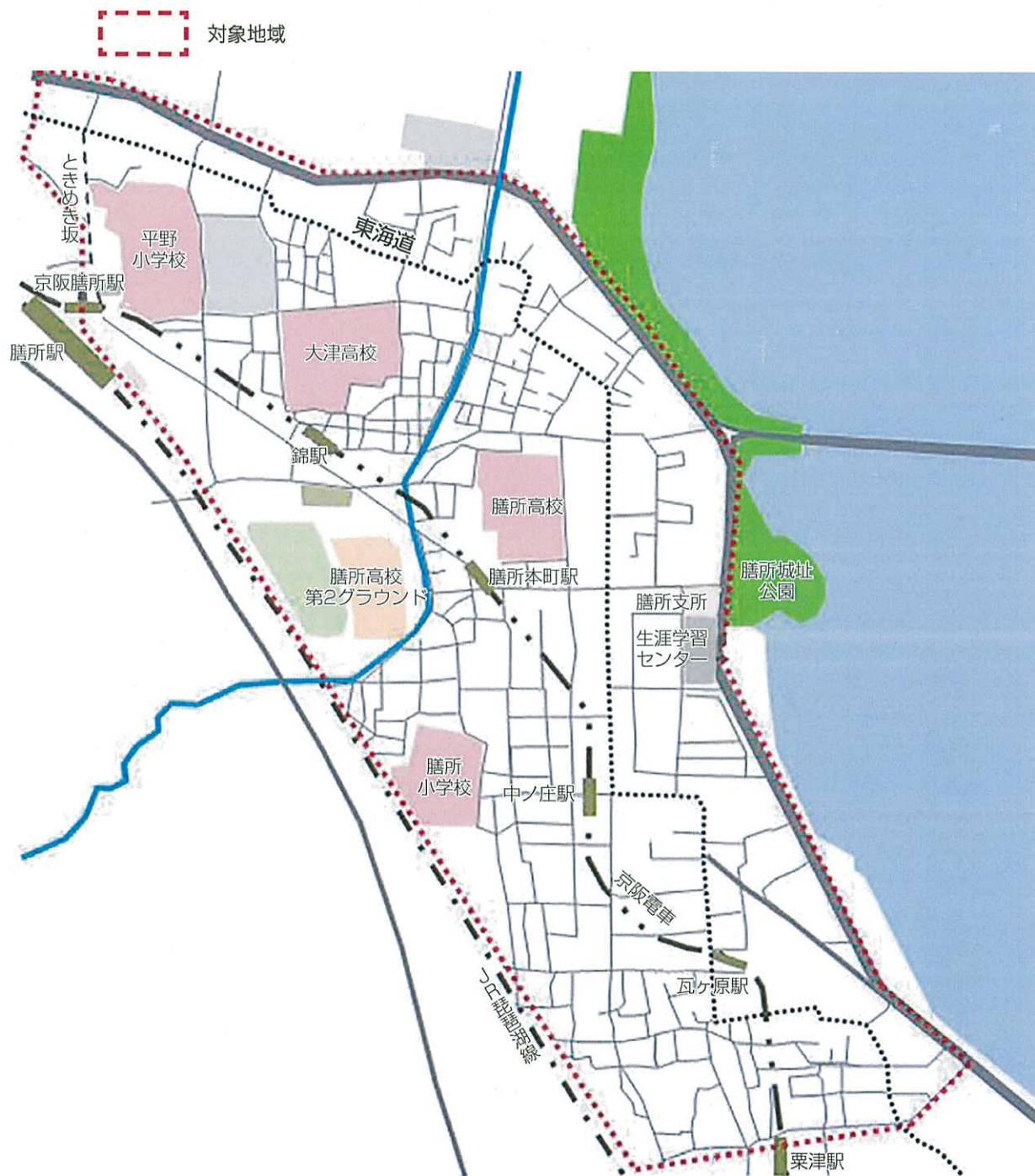
大津市景観重要広告物についても、長年町並みの景観をつくってきた広告物も数多く見られ選考を悩ませました。掲げられてからの経年数と地域の特徴を出しているものが最終的に選ばれました。ひっそりとした風景の中に様々な気付きを与えてくれる膳所地域は、現地調査の帰途を遅らせるほどであり、底知れぬポテンシャルを秘めた魅力ある場所であることは間違いありません。これは地域の方々の町並みに対する眼差しの熱さであり「自分のこと」として捉える意識に他ありません。

まちづくりは他人事ならぬ自分事(ごと)であり、小さなこだわりの蓄積が町並みのポテンシャルを決めているのでありましょう。身近なものへの気付きから我が街の来るべき景観を希望しています。



## 平成29年度 対象地域に ついて

今回の対象地域は、東海道を中心とした膳所地域（ＪＲ・京阪膳所駅から京阪栗津駅）です。ここは、江戸時代に築城された膳所城の城下町であり、「湖上の浮城」として浮世絵などに多く描かれ、東海道の名所のひとつでもありました。城下町の遺構が数多く残る歴史的なまちなみと、ＪＲ膳所駅前から琵琶湖岸にひろがる商業地域における都市環境が一体となった地域であり、大津市の豊かな歴史を未来に継承する上で重要な地域です。





# 大津市 景観重要 広告物

大津の素晴らしい景観は、長い歴史の間に積み重ねられた人々の営みがあり、形成されてきたものです。現在も大津のまちなかには、人々の生活の中から生まれ、独特の歴史を感じさせる古い看板類が大切に残され、地域の景観の象徴となっています。長年にわたり地域の皆さんに親しまれ、大津の景観の一部となってきた看板等の屋外広告物が、将来にわたって保全・継承されることを願い「大津市景観重要広告物」を指定しております。

## これまでの指定

### 第1次指定（平成22年度）

JR大津駅前から浜大津に至る「中心市街地活性化基本計画区域」内で5件を指定しました。

第1号



八百与

第2号



元祖  
阪本屋鰻寿司

第3号



鶴里堂

第4号



御饅頭處 餅兵

第5号



石田歯科医院

### 第2次指定（平成25年度）

古都指定10周年を記念して歴史的風土特別保存地区の中心から半径1km圏内の区域（中心市街地活性化基本計画区域内を除く）で3件を指定しました。

第6号



本家  
鶴居そば

第7号



日吉そば

第8号



茶丈藤村



### 第3次指定

草津市との景観連携の一環として、JR石山駅から草津市との行政界までの東海道沿道（沿道500m圏内を含む）を対象地域としました。

第9号



容輝湯

第10号



油清商店

第11号



にしよ呉服店

### 平成29年度指定広告物（店名）

- ・ 亀屋廣房
- ・ 馬杉湖魚店

### 指定基準

大津市屋外広告物条例に適合する屋外広告物のうち、次の各号のいずれにも該当するもの。

- 1 製作後概ね25年を経過しているもの
- 2 歴史的なまちなみ景観に寄与しているもの
- 3 再現することが容易でないもの
- 4 造形の優れているもの

### 選考員

選考員長

成安造形大学 助教 石川 亮

選考員

滋賀県広告美術協同組合理事長 和田 光平

大津市景観審議会委員・建築士 松田 才宗

大津市歴史博物館館長 樋爪 修

（順不同・敬称略）

### 選考会

■平成29年9月20日(水)

現地調査を行う広告物を選定するための書類調査を行いました。

■平成29年9月27日(水)

現地調査を行ったうえで、指定広告物の選考を行いました。



### 指定年月日

■平成29年11月4日(土)

### 通知書交付式及びパネル展示

■交付式

平成29年11月4日(土)

場所：大津市役所別館大会議室

（「きらッと大津景観絵画展」表彰式と同時開催）

■パネル展示

平成29年11月5日(日)～11月13日(月)

場所：西武大津店

平成29年11月15日(水)～11月23日(木)

場所：スーパーセンターイズミヤ堅田店



大津市景観重要広告物 指定第12号

# 亀屋廣房



- 広告物の種類：ひさし看板
- 大きさ：縦90cm×横180cm（概寸）
- 製作年代：昭和33年頃
- 所在地：大津市本丸町3-7
- 指定年月日：平成29年11月4日
- 広告主：(有)亀屋廣房 代表取締役 黄瀬 清
- 店名：亀屋廣房



京菓子司「亀末廣」より暖簾分けして、別家として城下町膳所にて、昭和16年より店を構えられている和菓子屋。店舗を現在地に移転した際に、この看板も製作されました。

東海道の町並みにふさわしく、これぞ膳所地域の景観をつくっていると言っても過言ではない看板です。

木材は固く、目のつまった材を使用しており、長く使用することを意識して作られていると想像できます。看板の縁も銅板で丁寧に巻かれ、雨よけの屋根もついており、店に風格を添えています。





大津市景観重要広告物 指定第13号

# 馬杉湖魚店



- 広告物の種類：ひさし看板
- 大きさ：縦40cm×横160cm（概寸）
- 製作年代：昭和40年代
- 所在地：大津市本丸町1-3
- 指定年月日：平成29年11月4日
- 広告主：馬杉 和憲
- 店名：馬杉湖魚店



琵琶湖の川魚にこだわった時雨煮の店として明治43年に膳所の地で創業。膳所の表通りに面しており、湖畔に近い場である雰囲気を醸し出していると言えます。

船底板を使った看板は、琵琶湖の漁師に製作してもらったもの。方形に切断せずその形を残しながら使用しているところに地域性を感じます。古材を再利用することが一つの価値であり美意識であることも特筆すべきです。

看板は比較的低い位置に掲げられており、その下にある暖簾へと目が移るように工夫されているところも一つの景観形成と言えます。

